

YAMAHA

Bluetoothスピーカーシステム

PDX-B11



Bluetooth®

取扱説明書

本機のできること

- ✓ Bluetooth で音楽のワイヤレス再生
- ✓ 自動接続による簡単操作
- ✓ おまかせミックス (Bluetooth, AUX-in)
- ✓ 気軽に持ち出せるハンドル、バッテリー駆動

ご使用前に必ずお読みください。

保証書別添付

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■ 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



© 2012 Yamaha Corporation

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

Printed in China ZE06470

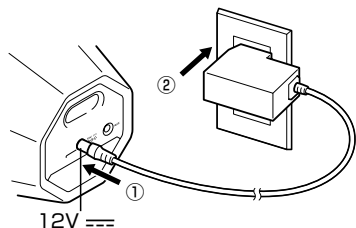
ご使用の前に

付属品

ご使用前に、以下の付属品をご確認ください。

- ・ AC アダプター

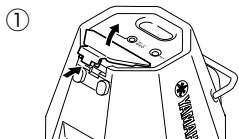
付属の AC アダプターを接続します。



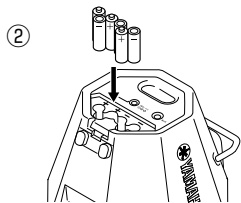
本機に AC アダプターを接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

本機を電池で使用するとき、背面から AC アダプターを外してください。

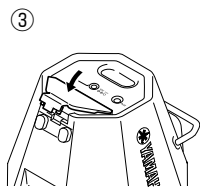
本機を電池で使用する場合



市販の単 3 乾電池 6 本が必要です。電池カバーのツメ部分を押しながら持ち上げ、取り外します。



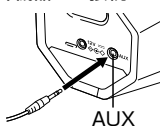
本機の +/- 表示に従って電池をセットします。



電池カバーを取り付けます。

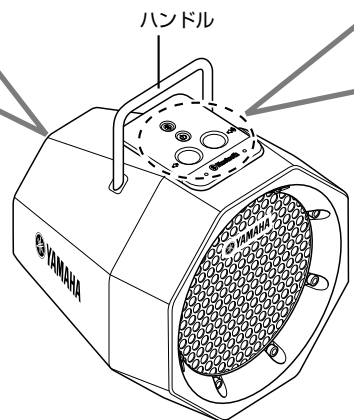
各部の名称と機能

外部機器との接続

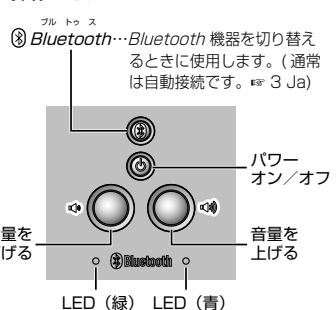


1. 3.5mm ステレオミニプラグケーブル(市販)を背面の AUX 端子に接続します。
2. 電源を入れます。
3. AUX ソースを再生します。

おまかせミックス 接続中の Bluetooth の再生中に、AUX ソースを再生すると、音声かミックスされて出力されます。



操作パネル



Bluetooth を 3 秒以上長押しすると、パワーオフになり省電力モードになります。省電力モード中は Bluetooth 接続はできません。省電力モードを解除して再び Bluetooth 接続するには、操作パネルの (パワー) を押し続けてパワーオンにしてから接続してください。

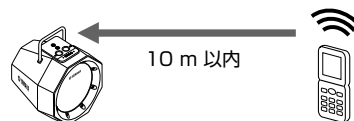
Bluetooth 接続で音楽を再生する

本機と Bluetooth 機器(携帯電話、デジタル音楽プレーヤーなど)をペアリング(登録)し、接続すると、ワイヤレスで音楽再生をお楽しみいただけます。

設置

以下のことに注意して、安定した場所に設置してください。

- ・ 鉄板などの金属板の上には置かない。
- ・ 本機を布などで覆わない。
- ・ 通信を行う機器(Bluetooth プロファイル A2DP に対応した携帯音楽プレーヤーや携帯電話など)と同じ部屋で、直線見通し距離が 10 m 以内の場所に設置する。
- ・ Bluetooth 機器と本機との間に障害物が無いか確認する。



電源(パワーオン/パワーオフ)

本機の (パワー) を押します。パワーオンの状態になると、LED(緑)が点灯します。

オートパワーオン

本機がパワーオフの状態でも接続した相手機器を大きな音量で再生すると、本機も自動的にパワーオンになり、音楽を再生します。ただし、電池使用時は機能しません。

オートパワーオフ

本機がパワーオンの状態で次のような場合、自動的にパワーオフになります。

- ・ 外部機器と接続していない条件で
 - ・ Bluetooth 接続後、30分以上再生停止した場合。
 - ・ Bluetooth 接続を機器側の操作で切断した場合。
- ・ Bluetooth 接続していない条件で
 - ・ 外部機器と未接続の状態で30分以上経過した場合。
 - ・ 外部機器の接続ケーブルを本機から取り外した場合。

ペアリング(登録)

初めて Bluetooth 接続を使用するときや、ペアリング情報が削除されたときは、ペアリングを行う必要があります。

ペアリングとは...

通信を行う機器(以下「相手機器」)を本機に登録する操作です。下記の手順に従ってペアリングしてください。

ペアリング手順

1. 本機の (パワー) を押して電源を入れます。
2. 相手機器の電源を入れます。
- 3-a. [入力キーがある機器(携帯電話、パソコンなど)の場合] 相手機器を操作して、Bluetooth 機器を検索します。詳しくは、相手機器の取扱説明書をご覧ください。
- 3-b. [入力キーがない機器(Bluetooth アダプターなど)の場合] 相手機器をペアリングモードにし、ステップ 6へ進みます。詳しくは、相手機器の取扱説明書をご覧ください。
4. 相手機器の検索結果から「PDX-B11 Yamaha」を選択します。
5. パスキーの入力を要求された場合は、数字で 0000 を入力します。
6. ペアリングの完了を確認します。

- ・ 相手機器でペアリングが完了していることを確認してください。ペアリングが成功しなかった場合は、手順 3 から操作をやり直してください。
- ・ ペアリング中に本機への電源供給が断たれるとペアリン

グ情報が破棄されることがあります。その場合は、「全てのペアリング情報の削除」の手順を行った後で再度ペアリングしてください。

- ・ 本機は最大 8 台の相手機器とペアリングできます。9 台目の相手機器とのペアリングが成功すると、接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が削除されます。

Bluetooth 接続と再生

1. 本機の (パワー) を押して本機の電源を入れます。
2. ペアリングした相手機器を操作し、Bluetooth 接続します。

Bluetooth 接続が完了すると、本機の LED(青)は点滅から点灯にかわります。

- ・ 機器によってはペアリングと同時に接続されますので、この操作は不要です。
- ・ 最後に接続した相手機器と接続可能な状態ならば、本機と相手機器は自動的に接続します。(自動接続)

ご注意

相手機器によっては自動接続できない場合もあります。自動接続できなかった場合、相手機器で接続操作を行ってください。

3. 相手機器の再生を開始します。
4. 本機の (ボリューム) を押して音量を調節します。

Bluetooth 接続の切断

- a. 本機の (Bluetooth) を押す。
- b. 相手機器を操作して接続を切断する。

接続する Bluetooth 機器を切り替えたい場合

1. 本機の (Bluetooth) を押して、今つながっている機器の Bluetooth 接続を切る。(待機状態に入ります。)
2. Bluetooth 接続をする。(初めて Bluetooth 接続する相手機器の場合は、ペアリングを行ってください。)

全てのペアリング情報の削除

1. 本機の (パワー) を押して本機の電源を入れます。
2. 本機の (Bluetooth) を 10 秒以上長押しします。本機のペアリング情報は全て削除されます。

LED 表示

本機の状態や Bluetooth 接続状態を表します。パワーオン時には LED(緑)が点灯し、本体 (ボリューム) 操作時には一回点滅します。Bluetooth 接続時には LED(青)が点灯し、未接続時には点滅します。


本機のボリューム調整値が最小または最大に達したときなど、ボリューム調節が不可能な場合は、LED(緑)は反応しません。

状態	LED 表示	
	緑	青
Bluetooth 未接続(自動接続)	点灯	低速点滅(5秒間に1回)
Bluetooth 未接続(待機)	点灯	高速点滅(5秒間に2回)
Bluetooth 接続時	点灯	点灯
全てのペアリング情報削除時	点灯	高速点滅(約3秒間)
電池が消耗され、電池の電圧が低い時	低速点滅	-

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた後、お買上げ店または修理ご相談センターまでお問い合わせください。


一般

症状	原因	対処
音が出ない。	本機と相手機器が正しく接続されていない。	ケーブル接続や Bluetooth との接続を再度行ってください。
	本機が相手機器の音量が最小になっている。	本機と相手機器の音量を上げてください。
	AC アダプターが正しく接続されていない。	AC アダプターを正しく接続してください。
	電池が消耗している。	電池をすべて交換してください。
音量を上げてても音が大きくなりません。	音量が大きすぎるため、保護回路が働いている。	音量を下げてください。
LED (緑) がゆっくり点滅する。	相手機器の音量が小さい。	相手機器の音量を上げてください。
	電池が消耗している。	電池をすべて交換してください。
本機がまったく動作しない。	リセットが必要。	操作パネルの  (パワー) を 10 秒以上長押ししてリセットしてください。

Bluetooth 接続時

症状	原因	対処
本機と相手機器がペアリングできない。	相手機器が A2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。
	Bluetooth アダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外である。	パスキーが「0000」の Bluetooth アダプターなどの機器をご使用ください。
	距離が離れすぎている。	本機を相手機器から 10 m 以内に設置してください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの (電子レンジ、無線 LAN 機器など) がそばにある。	本機を離して設置してください。
音が出ない、または音が途切れる。	本機が省電力モードになっている。	一旦、本機をパワーオンにして Bluetooth 接続にしてください。
	すでに他の機器と接続している。	他の Bluetooth 接続を切断してください。
	本機と相手機器との Bluetooth 接続が途切れた。	Bluetooth 接続を行ってください (※ 3 Ja)。
	距離が離れすぎている。	本機を相手機器から 10 m 以内に置いてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの (電子レンジ、無線 LAN 機器など) がそばにある。	本機を離して設置してください。
	相手機器の Bluetooth 機能が無効になっている。	相手機器の Bluetooth が正しく設定されていることを確認してください。
	本機が相手機器の Bluetooth 機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行ってください。
相手機器が Bluetooth 信号を本機に送っていない。	相手機器の Bluetooth が正しく設定されていることを確認してください。	
相手機器の出力切替が本機に設定されていない。	相手機器の出力切替を本機に設定してください。	
相手機器の音量が最小になっている。	相手機器の音量を上げてください。	


その他

症状	原因	対処
AC アダプターを接続しているのにパワーオフ状態で Bluetooth 接続できない。	省電力モードになっている。	一旦、本機をパワーオンにして Bluetooth 接続してください。
オートパワーオンが機能しない。	相手機器の音量が小さい。 再生した音声短い。	相手機器の音量を上げてください。 クリック音などの短い音声の再生ではパワーオンしません。
自動的にパワーオフした。	オートパワーオフが機能した。 電源 (パワーオン/パワーオフ) の「オートパワーオフ」をご参照ください (※ 3 Ja)。	本機の  (パワー) を押して電源を入れてください。
オートパワーオフが機能しない。	AUX 端子にケーブルが接続されている。	AUX 端子からケーブルを抜いてください。

お問い合わせ窓口

ヤマハ AV 製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-011-808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00
土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)


■ ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハ AV 製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-012-808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 9:00～18:00
土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX でのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越地域にお住まいのお客様 (03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、東海、北陸地域にお住まいのお客様 (06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島 2 丁目 1-1
京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋 6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル 9F
FAX (06) 6465-0374

名古屋サービスステーション

〒454-0832 名古屋市中川区清船町 4 丁目 1-11
ピアノ運送 (株) 名古屋営業所 1F
FAX (052) 363-5903

九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2 丁目 11-4
FAX (092) 472-2137

* 名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス


サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

- **保証期間**
製品に添付されている保証書をご覧ください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品 (下記参照) が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など


※ このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、保証書と共に使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という禁止を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重症を負う可能性が想定される」内容です。

電源 / 電源コード

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。 ● 煙が出る。
 - 内部に水や異物が混入した。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源コードを傷つけない。
● 重いものを上に載せない。
● ステープル止めない。 ● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源電圧（100 V）で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

本機を完全に主電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

設置

本機を下記の場所には設置しない。
● 浴室・台所・海岸・水辺 ● 雨や雪、水がかかるところ
● 加湿器を過度にきかせた部屋
水の混入により、火災や感電の原因になります。

放熱のため、本機を設置する際には：
● 布やテープクロスをかけない。
● 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

あおむけや横倒しには設置しない。
故障やけがの原因となります。

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から 22 cm 以上離して使用ください。
ペースメーカーに影響を与え重大事故につながる場合があります。

使用上の注意

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

本機を落としたり、本機が破損したりした場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
● 水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
● 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理および調整は販売店にご依頼ください。

お手入れ

電源プラグ、または電池ケースのゴミやほこりは、定期的に取り除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグや金属部がショートして火災や感電の原因になります。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源 / 電源コード

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。

むれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

付属の AC アダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

AC アダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変型し、火災の原因となることがあります。

電池

電池は極性表示（プラス+とマイナス-）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

電池と金属片と一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

使い切った電池は、自治体の条例、または取り決めに従って廃棄する。

電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。

長時間使用しない場合は、電池を本体から抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

設置

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ブラウン管を使用したディスプレイの近くでご使用になり万一色ムラや雑音などが生じるときは、本機とディスプレイの距離を離してご使用ください。

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

直射日光の当たる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のおそばや車内など）には設置しない。
外装の変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。

使用上の注意

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

環境温度が急激に変化する場所では使用しない。
本機に結露が発生することがあります
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

移動するときは、本機の電源コードを外す。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
 フラグを抜く 電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

お手入れ

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

車内・屋外での使用上の注意

- ・運転中は使用しないでください。
- ・炎天下の車内や直射日光の下、またはほこりっぽいところに設置したり放置したりしないでください。

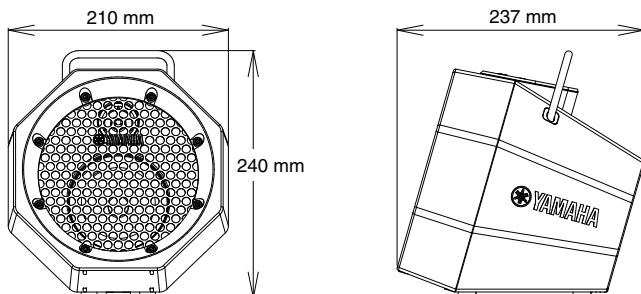
無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

主な仕様

Bluetooth バージョン	Ver. 2.1+EDR
対応プロファイル	A2DP
対応コーデック	SBC、AAC
無線出力	Bluetooth Class 2
最大通信距離	10 m (障害物が無いこと)
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式
AUX 入力端子	3.5 mm ステレオミニジャック
最大出力	9 W (6 Ω、1 kHz、10 % THD)
電源電圧 / 周波数	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	8W スピーカー本体
パワーオフかつ Bluetooth 未接続時の消費電力	0.5 W 以下
AC アダプター	MU18-D120150-A1 (DC 12 V、1.5 A)
使用電池	単 3 乾電池 × 6 本
電池駆動時間	0.18 W 出力 : 8 時間 (アルカリ乾電池)
質量	1.5 kg
外形寸法	



※ 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
 ※ 製品ラベルは本体の底面に掲示しています。

Bluetooth について

- Bluetooth とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- Bluetooth 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべての Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

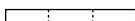
本機の無線方式について



[2.4]

[FH]

[1]



2.4 GHz 帯を使用する無線設備

変調方式は周波数ホッピング (FH-SS 方式)

想定干渉距離が 10 m 以内

全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可